



神辺中だより

令和7年12月

8

神辺中学校長

かんなベストリート



今年もやってきました、「かんなベストリート2025」通称カンスト。毎年恒例の行事に、まちづくりを盛り上げようと、神辺中学校の3年生が参加しました。SDGsの取組で、牛乳パック約2千個で城を作成したり、ゲームを考え来場した子どもたちと遊んだりと活躍してくれました。

また、来場していたひろしまFMのオオクボックスこと大窪シゲキさんと意気投合し、今年も大窪さんが司会を務めるラジオ番組に生徒代表が出演しました。神辺中の名物先生?も登場し、盛り上げてくれました。

PTA講演会

講師 東北大学応用認知神経科学センター助教

榊 浩平(さかき こうへい) 先生

演題「夢をかなえる脳と心の育て方～脳科学から考えるスマートと学力の関係～」

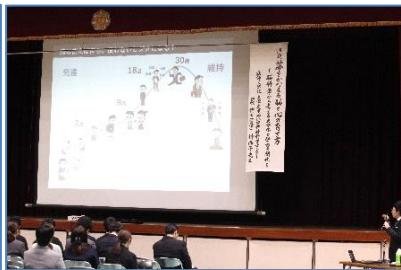
11月11日(火) 榊先生をお招きし、脳科学の見地からスマホと脳の関係をわかりやすく解説していただきました。ポイントは以下のようのことでした。

- (1) 脳の前頭前野といわれる部分は、考える、理解する、がまんするなど大切な機能を持っていること。
- (2) 前頭前野を育てるには、読み書き計算はとても大事だということ。計算ドリル、音読が素晴らしい!なぜなら、前頭前

野が活発に動いているから。逆にスマホ使用時はほとんど活動していないことがわかっている。

(3) スマホの長時間使用は脳に悪影響がある。スマホを見ながら3時間学習した効果と、30分集中して学習した効果が同等のものだった。なぜなら脳は一つのことしか処理できないから。

保護者からは「前頭前野への影響がこれほどあったとは思わなかった。」「子どもの前ではスマホができるだけ使わない、を実践したいです!」「スマホを触りながらの『ながら学習』ではどれだけ身に付かないのか、読み聞かせが脳に良い影響を与える、などエビデンスを通して分かりやすく教えてくださったので子供の今後を見据えて少しづつ環境を整えていきたいと思います。」「寝る前の本の読み聞かせを、親や兄妹間でもさせようと思った。」「自分自身も含め、スマホ依存傾向にあり、家族ルールを決めるために、話し合いをしてみようと思う。また、読み書き計算等の基礎学力の定着や読み聞かせを実施していくことが前頭前野を鍛えることにつながることを知り、今後の教育活動を見直してみようと思った。」など多くの反響をいただき、今後へのつながりを感じています。PTAの皆様も準備から進行までご協力ありがとうございました。



生徒会役員選挙



神辺中学校生徒会の次期リーダーを決める、生徒会選挙が行われました。檀上に立ち、600人の生徒の前で発表するだけでも緊張すると思います。しかし、立候補者7名はとても立派に、志を語ってくれました。

前日には福山市選挙管理委員会の方が来られ、投票する意義を解説されました。実際に使用される投票箱を使っての投票や、18歳からの選挙権など身近なこととしてとらえていきたいです。



12月27日(土)から1月4日(日)までは学校を閉鎖します。
緊急連絡先は、福山市教育委員会となります。
学事課 928-1112 学びづくり課 928-1183
どうぞ、よいお年をお迎えください。